

東久留米市社会福祉協議会施設管理者研修で応急手当の実技指導を実施



主催 東久留米市社会福祉協議会

日時 11月20日(火)午前10時～12時

会場 中央地区センター1階和室

内容 応急手当全般(主はAEDを使った心肺蘇生法)

受講者 15名(市内の各地区センター施設管理者)

指導者 川島、岸川、小山、佐藤、須藤、田村

使用器具 成人人形2体、AEDトレーナー2個、三角巾25本

昨年は講習会をお休みしました。しかし、今年は新人の方も増え再開することになりました。今回の講習は心肺蘇生法のガイドライン2010で今年から1部変更になりましたから、新旧を対比しながら行いました。心肺蘇生法は感染予防のためキューマスクを無償提供しそれを使って行いました。

左記写真 キューマスクを口にセットしているところ



心肺蘇生法以外の応急手当全般の説明をしているところ



胸骨圧迫の正しい姿勢を指導しているところ



新しい方法で呼吸の確認をしているところ、従来は気道を確保しながら呼吸を確認していました



止血法で指の間接圧迫法の仕方を説明しているところ



やけどの説明をしているところ
後方は2体の人形を使って心肺蘇生法をしているところ



AEDのふたを開けたところでパットを取り出して胸に貼るよう指導しているところ



包帯法で結び方をしているところ



反応の確認をしているところ



反応の確認の仕方を指導しているところ



回復体位を取らせたところ